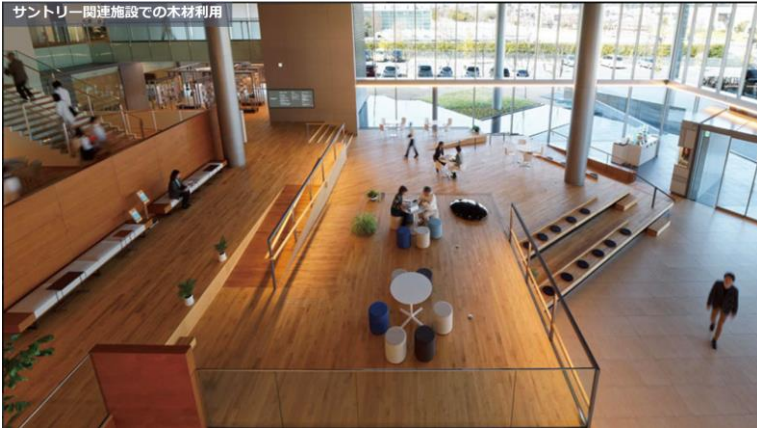


企業の森づくり活動



近年では森林が持つ多面的機能に着目し、企業をはじめ様々な主体が森林整備事業に携わっています。例えば、飲料メーカーのサントリーHDは「水と生きる」を社会との約束に掲げ、平成15年から「サントリー天然水の森」の整備を行っています。この活動の背景には地下水の安全・安心や持続性を守るためには「水の製造所」である森林の健全性を守ることが必要との考えがあります。また、同社は森林整備により生産した間伐材を会社の施設の床材等に活用するなど森林整備から木材利用までを一体とした取組を行っています。

その他、楽器メーカーのヤマハは、近年、資源量が減少している木管楽器の材料「アフリカン・ブラックウッド」の持続可能な調達に向けて、現地NGO等と協力しながら、タンザニアでの森林保全や整備に取り組んでいます。